

お城だより

2007年 4月 No.13

編集・発行／鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会
住所／〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル7階
TEL 092-716-8238 FAX 092-716-8254
HPアドレス：
<http://fukuokajokorokan.nppo.jp/>
E-mail: fukuokajo@tos.bbq.jp
デザイン・印刷／(有)セブンプリンティング

福岡城築城
400年
記念特集

今なぜ福岡城天守閣なのか？

如水の構想で福岡・博多・大都市に

最近歴史ドラマによく出てくる黒田如水（官兵衛）とその子長政の手で、福岡城とその城下町が、丁度四百年前、1607年に完成しました。この時「福岡」という地名が誕生しました。如水は豊臣秀吉（太閤）の重臣でしたが、「太閤町割り」の博多の商人町と、城下町の武士・町民の融合・一体化で発展を目指しました。その後も伝統が守られ、やがて年に一回博多商人の「松ぼやし」が城内に入り、殿様に「祝言」を言い、芸の披露をしました。これが今の「博多どんたく」のルーツです。如水は一時キリシタン大名にもなり、西欧文明や海外貿易に関心を持ちました。「ハカタ」の名前がヨーロッパにも度々出ました。今日の福岡・博多一体で、商業・行政の中核都市、国際都市の源は、如水の構想と町民・武士の協力で始まったといっていでしょう。

天守閣は昔も今も都市のシンボル

福岡城は勿論、五十二万石の大名の施設でしたが、都市を管理する政治施設でもあり、そこにつくられた天守閣は博多・福岡を含めた都市の象徴でした。町民生活にも旅人の眺望にも大きな存在感があったはずはです。

今も福岡城は古代の迎賓館「鴻臚館」（842年の記録にその名がでています）とも重なり合っており、国指定の史跡となり、実に48万㎡という広大な城郭が残っています。都心にある「歴史」と「自然」を味わえる市民のオアシスでもあり、災害時等の避難場所としても貴重

な存在です。歴史・文化の生きた教材でもあります。

全国有数の大城下町であり、広大な城郭が残っているながら、市民に存在感が希薄なのはなぜでしょうか。石垣は立派に残っているが、シンボルになる建物がないためでしょう。また今の福岡には来訪者、なかでも外国人を自信と誇りを持って案内するところがありません。天守閣を再建すれば、市民や観光客の



福岡城復元予想図：写真提供 長谷川賢輔氏

意識は一変するに違いありません。福岡城の観光資源としての価値が高まれば、歴史・由緒の多い博多地区や賑やかな商業スポットと相乗作用で、観光都市としても一層活気を呈するでしょう。



NPO法人 福岡城市民の会
理事長 石井 幸孝

天守閣再建に向けての運動

今年は築城400年で、天守閣再建の市民の声も大きくなっています。今まで天守閣は「あった」「なかった」の議論もありましたが、最近では十数年間存在したと思われるふしが強くなってきました。また天守台の石垣・礎石から割り出された四層天守閣の想定図面もすでにできています。文化財保護法という物的証拠はありませんが、史跡を活かすためにも、弾力的解釈という発想の転換で、再建してもいいのではないかという意見も多くなっています。「史跡」も今の市民が「活用」してこそ、未来への「保存」につながります。

本格的木造建築で工事費50億円と想定されています。国、地方の財政事情から見れば、決して安い費額ではありませんが、地域・市民に及ぼす波及効果を考えれば有益な資金の使い方と考えられます。このプロジェクトが進むか否かは多くの市民の盛り上がり、ささやかでも浄財の拠出の動きが始まるかどうかにかかっています。

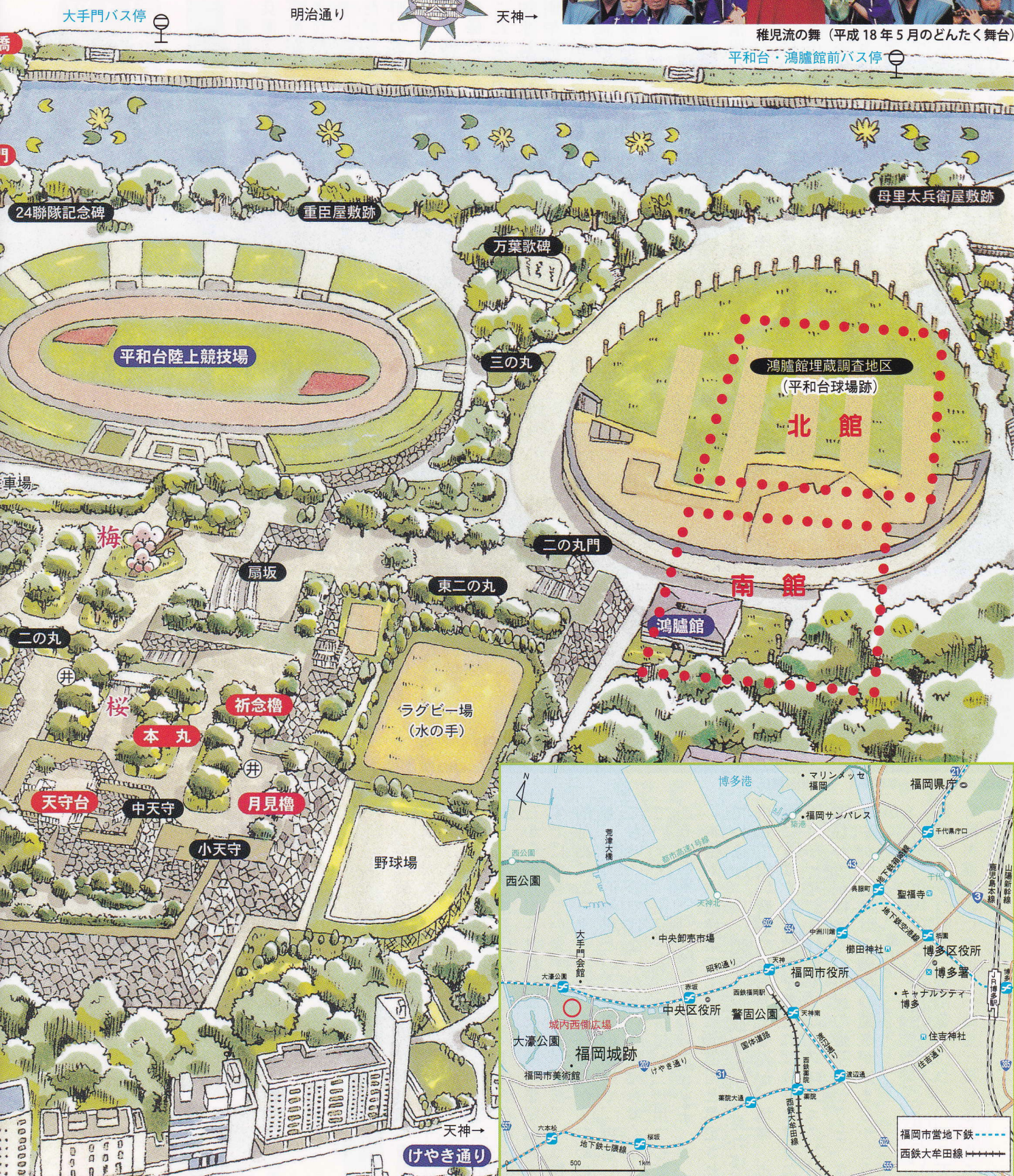
大勢の市民の皆さんに関心を持ってもらい、福岡・博多の歴史・文化を学びつつ、この天守閣再建運動に参加し、意見・提言されることを期待しています。

周辺散策マップ



稚児流の舞（平成18年5月のどんたく舞台）

平和台・鴻臚館前バス停



福岡城 どんたく演舞台

日時・開演時間

5月3日 9:30～18:00
4日 10:00～17:30

場所

城内西側広場 (旧西三の丸)

主催

福岡市民の祭り振興会
読売新聞西部本社
NPO 法人鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

福岡城跡に
来てんじやい!

2007 市民の祭り 「福岡城どんたく演舞台」

プログラム (抜粋)

5月3日

- 鏡開き
- 筑前今様 二川流
- 筑前琵琶 福岡旭会社中
- 日韓親善交流 NPO 国際交流力や舞楽団
- コスモスじろ長どんたく隊
- 中津市黒田武士の会どんたく隊
- 赤坂ル・アンジェ教会ゴスペルワイヤー
- 他 50 団体の演技披露

5月4日

- 黒田御当主歓迎式典
長唄どんたく 筑前今様黒田節・三番叟
- 舞台開き神事 光雲神社神宮により
- 古武道披露 黒田藩柳生新影柳心会
- どんたく行進曲と踊り振付
- 博多松囃子 三福神並びに稚児流参上
- 福岡市消防団 「太鼓纏振り」
- 博多仁和加 (子供仁和加)
- 他 40 団体の演技披露

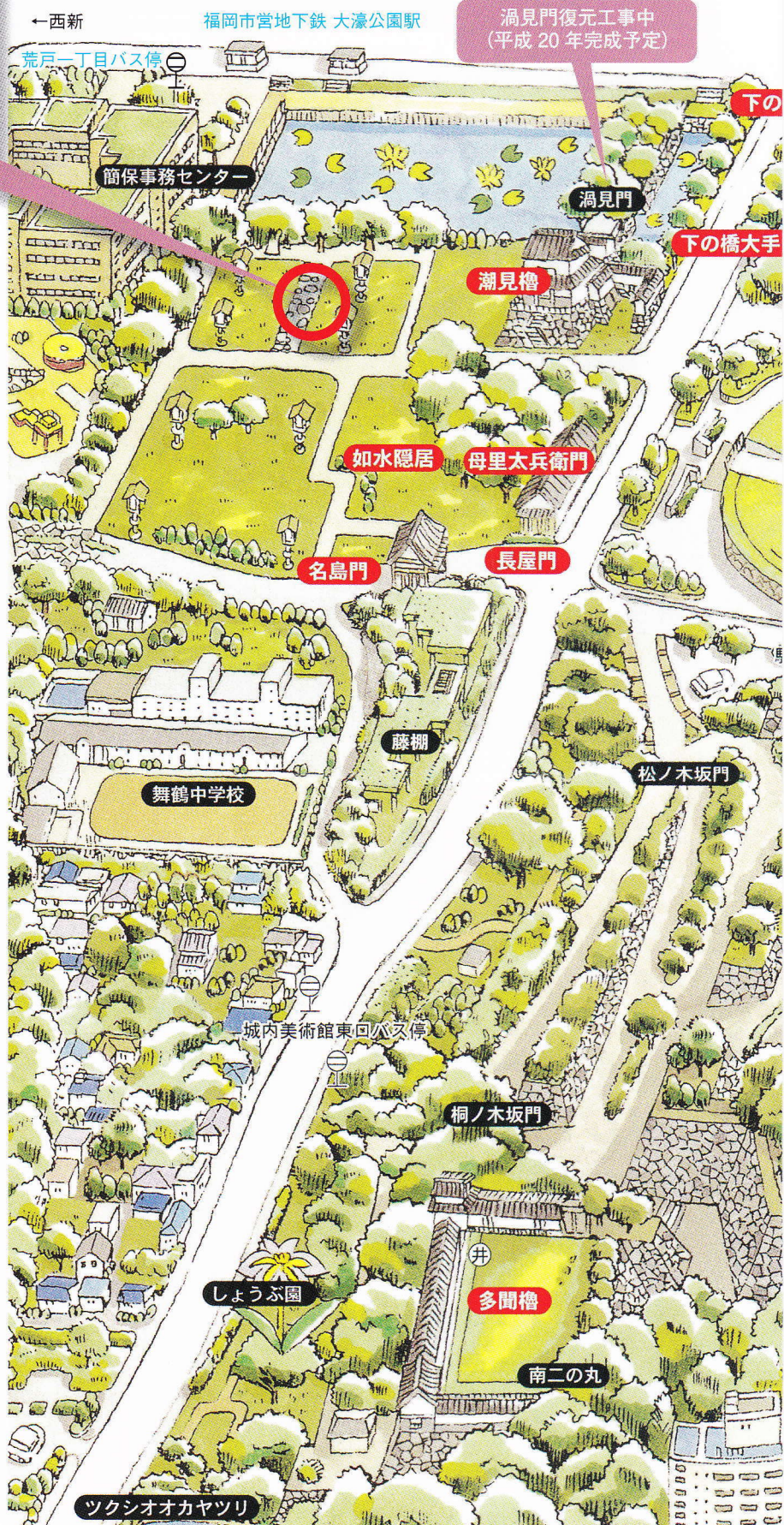
どんたく舞台納め行事

- 博多古民謡 博多那能津会
- 長唄 祝い唄
- 福岡藩 陽流抱え大筒 (県・市民民俗文化財)
- 閉会 博多祝いうた 手1本

広々とした福岡城西三の丸芝生広場に
舞台を設け約 100 団体余のお祝いを
受けます

鴻臚館・福岡城跡

今ある博多どんたくの祝いの祭礼



福岡城の四季

福岡城再建元年の行事

- 福岡城どんたく演舞台
5月3日・4日 城内西側広場
- 福岡城の勉強会……歴史探訪

春

見ごろの花

福岡城は日本の桜の名木が一杯です。
その他ボタン・ツツジ・シャクヤク・フジ

- 夏の大濠の花火
- 納涼 中央区民のまつり

見ごろの花

ハナショウブ
ハスの花
アジサイ

夏

- 観月の宴
- 今年は「薪能」を行ないます
- 近くの西公園
光雲神社 100年大祭が10月20日
- おおほりまつり

秋

見ごろの花

サザンカ

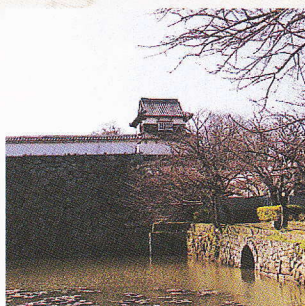
見ごろの花

城の石垣とウメ
二の丸梅園は
すばらしい景観です

冬

- 黒田藩の勉強会
六端城めぐりバスツアー

- 【主な事業】
- 観校の宴 (4月)
 - どんたく舞台 (5月)
 - 観月の宴 (9月)
 - 史跡探訪 バスツアー (6回)
 - 講演会の開催 (3回)
 - 機関誌発行 「お城だより」(年4回)
 - 全国お城 ネットワーク



潮見櫓



祈念櫓



多間櫓

【鴻臚館・福岡城の特徴】

鴻臚館は古代の大和朝廷の迎賓館、そして官営の貿易商館でした。九州の総監府だった太宰府に所属していて、中国の唐や宋、朝鮮の新羅からの使節や渡来人の接待を行い、そして前後十七次にわたった遣唐使や、遣新羅使を送りだす客館でした。(七世紀〜十一世紀)

福岡城は、黒田如水・長政親子が慶長六年(一六〇一年)から慶長十二年まで七年間の歳月をかけて完成したもので、築城四百年の記念すべき時を迎えています。

別名舞鶴城とも呼ばれるこの福岡城は、豊臣秀吉の文禄・慶長の役における韓国・晋州城をも参考にした、重厚堅固な城で、築城の名手加藤清正をして感嘆せしめた城です。

明治以降、筑前竹槍一揆で県庁移転後、陸軍第二十四連隊の駐屯によって城郭が変わり、昭和二十年戦火によって焼かれ、戦後第三回国民体育大会の折平和台として市に移管され、昭和三十一年国の史跡指定に至っています。本城は四十八万二千㎡、四十七の櫓を偲ぶ佇まいです。隣の大濠公園とともに、重要な観光資源であり、市民のオアシスとして愛されています。

【NPO法人「福岡城市民の会」に入会のご案内】

当会(正式名称NPO法人「鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会」)は、福岡城と鴻臚館を整備・活用しようという趣旨の市民の会ですが、発足から満2年経ちました。「どんたく」舞台や「観月の宴」などのイベント、勉強会や歴史ツアーの開催、福岡城整備に向けての運動に取り組んでいます。本年は天守閣再建に向けて、一層積極的な活動を始めます。楽しみ、学びつつ、市民の夢作りの運動の、核になる当会会員は現在、個人、法人含め約300名ですが、多数の皆様にご加入いただき、天守閣再建にお力やお知恵を貸していただきたいと存じます。皆様の加入を心からお待ちしております。

年会費：正会員(個人) 10,000円/年
正会員(団体) 30,000円/年
一般会員(個人) 1,000円/年
一般会員(団体) 10,000円/年
総会議決権のある正会員のほかに、ご支援の会員として一般会員を設けています。

お問い合わせ：NPO法人福岡城市民の会事務局

TEL: 092-716-8238
FAX: 092-716-8254

注 御入会頂きました御名前は次号14号に記載いたします